

「第33回国民文化祭・おおいた2018」

「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」 生活芸術の祭典 諸報告

全体テーマ おおいた大茶会（だいちゃかい）
 ①街にあふれ、道にあふれる、県民総参加のお祭り
 ②新しい出会い、新たな発見
 ～伝統文化と現代アート、異文化コラボ～
 ③地域をつくり、人を育てる

テーマ 祈りの谷（豊後高田市・杵築市・宇佐市・国東市・姫島村・日出町）
 生活芸術の祭典

会期 平成30年10月27日（土）～10月28日（日）

会場 大分県杵築市内 武家屋敷 磯矢邸

出品者 21名（池坊、小原流、新池坊、草月流、知香流）

内容 大分県在籍会員を中心に、流派をこえたいけばなの作品を展示し、協会のあゆみ、いけばなの歴史、花型のパネル展示を行い、いけばなの普及活動の一翼を担った。

主催者 文化庁、大分県、第33回国民文化祭大分県実行委員会、市町村、市町村国文祭実行委員会、全国及び県内の文化関係団体等

入場者数 570名

収支報告 予算 1,000,000 円 内訳（単位：円）

<収入の部>

国民文化祭補助 844,212

<支出の部>

催事会議費	176,287	交通費他
催事賃借料	54,000	電気レンタル料
消耗品費	8,330	文具
通信運搬費	16,097	発送費
旅費交通費	521,560	宿泊費他
委託費	117,000	パネル製作・花材費補助
雑費	146,100	入場券・振込手数料他

844,212

1,039,374